

音楽法要おしょうしんげ

■ 楽曲データ

楽曲：中田喜直・中出安子 作曲

制定：浄土真宗本願寺派 1998年

初演：蓮如上人500回遠忌法要「園児の集い」 1998年5月16日

初出：—

管理番号：M1801

■ 創作の経緯

保育連盟が制定した「幼児のおつとめ」をもとに、仏教讃歌〈わたくしたち〉を追加、さらに〈登礼楽〉〈持念〉〈回向〉〈降礼楽〉を新たに作曲して音楽法要としての形式を整えたもの。蓮如上人500回遠忌法要にて勤修。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集 こども編』第1巻収録

底資料：『音楽法要重誓偈作法 音楽法要おしょうしんげ』浄土真宗本願寺派 1998年

校訂の詳細：特記事項なし

■ 解説

1998（平成10）年にお迎えした蓮如上人500回遠忌法要は、10期100日間にわたる大きな法要でした。このとき制定された音楽法要が、「音楽法要重誓偈作法」、そして「音楽法要おしょうしんげ」です。

保育連盟で制定された「幼児のおつとめ」に楽曲を補完し、法要としての形式を整えたものですが、旧来の楽曲と新作された部分とを続けて演奏しても違和感がないよう、全体の曲調の統一が図られています。

◆ 補完された楽曲について

〈献灯・献華・献供〉

曲は3つの部分から構成されています（1～8小節／9～24小節／25～28小節）。献灯などの進行にあわせ、冒頭ないし中間部を省略したり反復したりして、時間の調整ができるよう、配慮されています。

〈持念〉

この音楽が聞こえてくれば「手を合わせるのだな…礼拝するのだな」と子どもたちの習慣になることを期待して作曲されました。幼稚園や保育園の日常礼拝のときはもちろん、他の音楽法要でもお使いください。

〈登礼楽〉 〈降礼楽〉

これらの楽曲は、4小節ないし2小節を1単位とする7種類の旋律と、その展開で構成されています。伴奏者がそれらを導師の作法に合わせて省略したり繰り返したりすることで、作法と演奏が一体感をもつことが目指されました。

〈回向〉

「平等（びょうどう）」の「う」は、「びよーどー」と長音（直前の母音を伸ばす）として発音します。『聖歌・讃歌集』では、このような場合は「（う）」と表記しています。〈おしょうしんげ〉の「帰命」「無量寿」、〈回向〉の「同発」「往生」も同様ですので、気を付けましょう。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.